

式 辞

新しい年度を迎え、春爛漫の佳き日に、ここに令和八年度大阪体育大学大学院、並びに大阪体育大学スポーツ科学部・教育学部の入学式を挙行できますことは、本学にとって大きな喜びであります。

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございませう。教職員を代表し、皆さんの入学を心より歓迎いたします。また、今日まで慈しみ育て、支えてこられたご家族の皆様にも、深く敬意を表するとともに、心よりお祝いを申し上げます。

さて、皆さんが今日その一員となった大阪体育大学、通称「大体大」は、昨年度に開学六十周年という大きな節目を越えた、伝統ある学び舎です。

本学での学びの根幹は、建学の精神である「不断の努力により智・徳・体を修め社会に奉仕する」ことに他なりません。私たちはこの「智・徳・体」の修養を通じ、「本物を学び、極める」というビジョンを掲げています。皆さんは、体育・スポーツ・健康・教育の各分野において、小手先の技術ではない、質の高い専門性、すなわち「本物」を追求してください。その高い志こそが、諸先輩方が築いてきた社会への貢献を、さらに高める力とつながっていきます。大学とは、自ら主体的に学び、自己を変革させる場です。我々教職員は「学生ファースト」の理念のもと、皆さんの成長を全力で支援します。

新たな環境での生活は、時に混乱や戸惑いを伴うこともあるでしょう。しかしそこには人との出会いが待っています。本学には、全国から志を同じくする仲間が集い、各分野の第一線で活躍する経験豊富な指導者が揃っています。切磋琢磨し合える友人、頼りになる先輩、進むべき道を示してくれる恩師、そして地域社会の方々など、こうした多様な出会いは、皆さんの視野を広げ、生涯の財産となるはずですよ。

大学院は、既知の解を求める場ではなく、自ら問いを立て、未踏の領域を拓く「探究」の場です。現場の経験知を科学的理論へと昇華させ、再び現場へと還元する。大学院生の皆さんには、スポーツ科学・教育学の最前線に立つ開拓者としての矜持を期待します。

学部生として「生徒」から「学生」へと歩みを進める皆さんは、これまでの枠にとらわれず、知見を広げ、興味のある分野への探究を展開してください。未知の分野に触れることは、新たな自己の創造に繋がります。苦難をものともせず、思う存分自身の可能性への挑戦を展開してください。

皆さんがこれから本学の伝統を継承する者として、忘れてはならないことがあります。

一つは、「自律」です。大学生活の基盤は学則をはじめとする多岐に渡る規程や規則によって支えられています。これから修了、卒業に至るまでの授業の履修方法や免許資格の取得などは、この学則等に則って行われます。情報の氾濫する現代において、他者に頼ることなく自ら正しく情報を受け取り、迅速かつ適切に行動する、その誠実な積み重ねこそが、社会における「信頼」を形作ります。

もう一つは、「尊厳」です。スポーツの本質は、相手を敬い、ルールを遵守し、公正に競い合う精神にあります。力による支配や個人の尊厳を傷つける行為、あるいはルールに反した行いは、人としての資質を否定するものであり、本学はこれらを断じて排し、皆さんが安心・安全に、そして誠実に研鑽を積める環境であるように努めます。皆さん自身の行動についても、様々な法規および倫理に基づき適正に振る舞うことを強く求めます。

現在、生成 AI や DX といった科学技術が急速に進化し、それをを用いることが避けられない時代となってきています。その一方で、技術がどれほど進歩しようとも、最後に求められるのは「人間の幸福」に寄与する行動と成果です。本学は、人と人が向き合う「ハンドメイドの教育」を何よりも大切にしています。経験豊富で卓越した指導者と充実した施設という環境を活かすも逃すも、皆さんの「主体性」次第です。受け身にならず、自ら問い、勇気をもって自ら動いてください。その先に、皆さんの可能性は無限に広がっています。大阪体育大学の新たな歴史の一ページを刻むのは、ここにいる新入生一人ひとりです。

結びに、ご臨席賜りましたご来賓の皆様は厚く御礼申し上げますとともに、新入生の皆さんの前途が光り輝くものであることを祈念し、式辞といたします。

令和八年四月二日

大阪体育大学 学長 神崎 浩